



河合サテライト通信 第38号

2009年9月15日

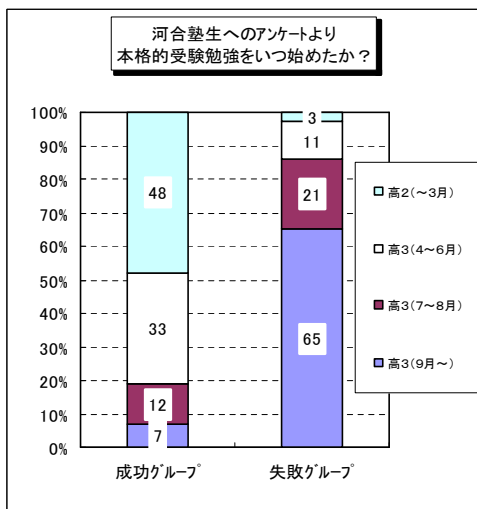
学校法人 河合塾 営業企画部

今年度もいよいよ後半戦に入りました。夏休み中、しっかり学習した人は、これからメキメキ成績アップ・偏差値アップしていきますよ。自信を持って、学習を継続していきましょう。反対に、夏休みは、ちょっと遊ぶ方が多かったかなあと反省している人は、これから計画を立て直して、はりきってがんばりましょう！

さて、高3生の皆さんは、志望大学をある程度絞り込んでいるでしょう。では、高2生の皆さんは、どうでしょうか？「まだ、文理選択すら迷っているよ！」という人もいるかもしれませんが、そろそろ、①自宅通学なのか下宿するのか、②国公立大学なのか私立大学なのか、くらいは意識して、考えはじめましょう。

〈編集担当・高瀬 優〉

1. 受験勉強は、“高2の秋から”はじめましょう！



(1) 大学受験勝ち組の半数は、高2から受験勉強スタート

本誌では毎年9月号で、高2生に向けて、受験勉強の早期着手を提案しています。現高2生の皆さんの中には高1の時に、その記事をご覧になった方も多いと思います。左のグラフは、最近の統計ではありませんが、参考として眺めてみてください。大学受験成功グループの実に48%の人たちが高2生から本格的な受験勉強を始めたことを示しています。しかし、『最近の生徒は、受験勉強に着手する時期が遅い。しかも、将来、自分は何を職業にし、そのためにはどんな進路にするのか決められない子が多いので、高3の夏に部活を引退しても、次にどんな目標に向かって努力すべきなのか分からず、ポーっとしてしまい、気がついたら出願時期が来てしまい、準備不足で失敗するケースが後を絶たない。』とは、多くの高校でよく耳にする先生方の憂いの言葉です。

(2) 志望大学が決まっていなくても、高2の今からできる受験勉強は何か？

①センター試験を意識しよう！

大学進学を目的とする高校の大多数では、生徒たちに大学入試センター試験の受験を求めています。

したがって、およそ大学進学を志すならば、センター試験を受けるのだということを、今から意識して行動してみてもはどうでしょうか？つまり、志望の大学・学部は決めていないながらも漠然と国公立大学への進学を希望するならば、センター試験では英語・数学・国語を絶対受験します。同様に、私立大学では、おそらく文科系だろうと思えば、英語・国語。また、理科系ならば、英語・数学を受験するはず。これら3教科の対策学習には長い時間がかかります。ご承知のように、センター試験は高2終了までの範囲から出題されますから、高2生の皆さんが全く答えられない難問ばかり並んでいる訳ではありません。ですから、高2の今からセンター試験の英語・数学・国語を根気よく準備しましょう。

②どのように学習を始めるか？

何の指針もないままに、センター対策学習に着手しても、うまくいきません。そこで、まず河合サテライト講座のセンター試験対策講座の活用を提案します。高2の皆さんには、まだ時間がありますので、基本的には、英語と数学は1講45分×40講の受講をお勧めします。国語は現・古・漢それぞれに基礎編と実践演習編があります。苦手なものは基礎編から受講をお勧めします。これらを遅くとも高3の夏休み前までに完璧に受講を終えましょう。できれば、来年のゴールデンウィーク前後には、ひと通りの受講を終えましょう。目先の目標は、来年2月実施の全統高2マーク模試での得点率アップですが、とにかく来年5月実施の第1回全統マーク模試では、ぶっちぎりに良い成果を挙げることが狙いです。なぜならば、ここで納得できる成績を取れば、その後も気持ちよく受験勉強の波に乗れるからです。

来年8月実施の第2回全統マーク模試からは母集団が大きくなり、全国の英才・俊才も受験します。当然、第1回の成績で慢心してしまうと、第2回の成績は急降下します。ここで、演習量の差が成績の差になって現れます。そこで、6月からはセンター試験の過去問と格闘します。先に述べたサテライト受講は、この「過去問演習」を「活きた学習」にするための土台づくりなのです。

〈次頁につづく〉

③高2生の内に、受験生の必須項目はハイペースでやり終えよう

受験生の必須項目として思い浮かぶのは、英単語・英熟語暗記、古文単語暗記、歴史年号暗記そして、元素記号暗記など「暗記」です。このような暗記を省いて受験勉強は成り立たないのです。特に、英単語は全受験生必須と言っても過言ではありません。ところで、東北地方のある私塾では、英単語1日50語暗記を課しています。毎日50語を暗記することは結構辛いことです。その上、毎日書き取りテストをするそうです。だから最初、生徒さん達は苦しまれるそうです。でも、5日間なり10日間なり継続すると、だんだん慣れて、とうとう40日後には2000語暗記ができるそうです。これを1日10語でやったら200日かかる訳です。10語ならば確かに無理はないでしょうが、200日後には、初めの方の単語を忘れているかもしれません。50語は無理かなと思っても、継続するうちに慣れて、結果として早く終わり、記憶も残っているのです。中には、1日100語記憶という猛者もいるそうです。

このように様々な暗記モノは、高2の内にできる受験勉強として捉えて、ハイペースで終わるようにやり抜くことで効率良く、また後々に良い結果をもたらします。ぜひとも挑戦してみてください。

2. 「親元を離れての大学進学」そのお値段は…いくらでしょうか？



(上写真) 憧れの東京原宿・表参道

皆さんには少々説教じみた話とお感じになるかもしれませんが、シビアな情報として、少しでもお心に留めてください。もう30年余も前になりますが、筆者が高3生だった頃の話です。口うるさい母親からの独立をもくろみ、東京の大学へ進みたいと訴えました。

両親は別に止めることもなかったのですが、WだKだと実力不相応な大学に無謀な挑戦をしました。親の懐具合を全く考えもせず、単に合法的家出のような大学受験でした。その結果は、当たり前ですが、第5志望くらいの地元・名古屋の大学へ進むことになりました。

そして、時が経ち、筆者自身も高校生の息子をもって、その子に向かって、毎日「勉強しろ！」などと口うるさい親になった今、この子が東京の私大に進学することになるといくら費用がかかるのだろうと、ふと思いたって大学4年間分の概算コストを算出してみました。

①大学受験費用(名古屋から東京の私大5校受験料・5泊分宿泊交通費など)	約280,000円
②大学入学費用(私大法学部の入学金・授業料・諸経費など初年度納付金)	約1,200,000円
③2~4年生の大学に支払う費用(約900,000円×3年分)	約2,700,000円
④大学で使う教材・教科書などの購入費用(4年間分)	約600,000円
⑤住居費・水熱光費・通学費など一般経費(ひと月あたり約90,000円)	約4,320,000円
⑥食費・通信費・趣味娯楽費(ひと月あたり約50,000円)	約2,400,000円
⑦帰省の際の交通費(年5回で1年あたり約100,000円)	約400,000円
となり、合計・約11,900,000円でした。1年間平均約3,000,000円の支出となる訳です。	

もちろん、これらのコストを親が全て支払うのではなく、奨学金の貸与や子のアルバイト収入で補填することは考えられます。その代わりに、地方では体験できない文化に触れ、より良質な教育を受ける機会に恵まれるかもしれません。いずれにしても、これだけの膨大なコストを支払うのですから、親元を離れて大学進学を志す皆さんには、大学で「知」の習得に貪欲に取り組む覚悟をしていただきたいと提言します。皆さんの大学4年間を充実したものにするために、上記の試算が参考になれば、幸いです。

河合出版から 一入試英単語の王道2000+50 改訂版一好評発売中です！



単語を覚える負担を大幅カット！

センター試験の過去問を徹底分析・整理し、それに重要単語を加えました。レベルによる見出し語2000語と派生語1600語、多義語50語の他、特色語も収録。単語の意味を、音とともに思い出すよう、発音記号にカタカナを併記しました。

単語は50個ごとのユニットにし、達成感を積み重ねながら学習できます。

フレーズを用いて語法まで確認できます。税込定価900円

姉妹品：入試英単語の王道2000+50CD-改訂版- 税込定価1365円

英熟語 Always 1001

税込定価 924円

※ご購入は、河合サテライトネットワーク校対象の専用通販をご利用ください。

河合サテライト通信第38号 ご愛読ありがとうございました。